

事務事業名	緑の広場設置事業費										担当課	部課名	都市整備部公園課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	西山 博光	電話	4343

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 47 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	市内に散在する空閑地を借地して、市民の憩いの場として開放し、災害時の一時避難場所とするなどの有効活用を図り、良好かつ快適な生活環境の確保を図る。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市緑の広場の確保に関する要綱				
事業実施内容	地域住民の憩いの場として緑の広場を適正に管理するため、維持管理を行った。 緑の広場63カ所(2021年4月1日時点)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 52,468 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主要内容
		需用費	3,396 千円	消耗品費、印刷製本費、光熱費、施設修繕費等
		役務費	8,387 千円	保険料、手数料
		委託料	12,510 千円	緑の広場草刈等業務委託等
財源内訳	R3年度 支出済額 52,468 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
		一般財源	52,468 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	1.05人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.05人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
コスト	支出	行政費用 A	53,868	82,897	61,920	60,996			
		(1)現金を伴う支出 (千円)	57,698	82,286	62,527	60,995			
		事業費(支出済額)	49,989	72,567	54,015	52,468			
		償還金利息	0	0	0	0			
		人件費合計(①+②+③)	7,709	9,719	8,512	8,527			
		①常時勤務職員等の給与等	7,334	9,141	8,079	8,193			
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
		③退職金相当額	375	578	433	334			
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-3,830	611	-607	1			
		①減価償却費	0	0	0	0			
		②退職給与引当金繰入額	-3,830	611	-607	1			
		③不納欠損額	0	0	0	0			
		④その他 ( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		125.47	429,317	191.42	433,060	142.31	435,121	138.95	438,968
成果実績	指標名	目標	単位	実績	単位				
	指標名	実績	単位	実績	単位				
上記指標名の設定ができない理由		支出の大半が義務的経費や事務経費であるため、指標の設定が出来ない。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか 緑の広場は、市民の憩いの場として開放するとともに、市街地における災害時のオープンスペースとしての役割を果たしている。一方で、市内の都市公園の整備が進み充足してきていることから、身近な公園への未到達区域の解消状況や、広場の利用状況、利用実態を踏まえた必要性についての検討が必要である。	中
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか 都市公園の整備が進み、身近な公園への未到達区域が解消されてきていることから本来の目的は達成されてきている。あわせて、利用に関する制約事項がないことから、近隣住民への生活環境面の影響が懸念される。	中
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか 近隣住民の憩いの場として開放しているが、一部の広場においては、特定の団体等による利用が見受けられ公平性に課題がある。	中
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
	事業の方向性	事業縮小	
今後の方針	緑の広場周辺に位置する都市公園の整備状況や広場の利用状況、利用実態を踏まえ、借地契約の更新時期等にあわせて、契約の解除や都市公園への代替などを検討していく。		

6. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	市民農園運営費										担当課	部課名	都市整備部公園課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	004	説明	01	課等の長	西山 博光	電話	4343

1. 事業概要

事業開始年度	平成 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	市内の空閑地を借地し環境保全に寄与しつつ、市民が自然とふれあうことを目的として、本市が「特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律」に基づき市民農園を開設し運営を行う。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市市民農園事業運営要綱				
事業実施内容	1 市民農園の草刈、剪定、施設修繕等の維持管理 2 市民農園の更新作業(3年周期) 市民農園20カ所740区画(2021年4月1日時点)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 26,899 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主要内容
		需用費	5,879 千円	消耗品費、施設修繕費、印刷製本費
		役務費	3,347 千円	市民農園維持管理手数料
		委託料	2,048 千円	市民農園パトロール業務委託
財源内訳	R3年度 支出済額 26,899 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( 利用料収入 )	8,240 千円	
		一般財源	18,659 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	1.15人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.15人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.50人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
コスト	支出	行政費用 A	60,684	39,038	33,912	37,725									
		(1)現金を伴う支出 (千円)	56,930	43,847	34,822	37,724									
		事業費(支出済額)	29,948	32,185	23,700	26,899									
		償還金利息	0	0	0	0									
		人件費合計(①+②+③)	26,982	11,662	11,122	10,825									
		①常時勤務職員等の給与等	25,668	10,969	9,529	9,043									
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	1,106	1,406									
		③退職金相当額	1,314	693	487	376									
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,754	-4,809	-910	1									
		①減価償却費	0	0	0	0									
		②退職給与引当金繰入額	3,754	-4,809	-910	1									
		③不納欠損額	0	0	0	0									
		④その他( )	0	0	0	0									
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		141.35	429,317	90.14	433,060	77.94	435,121	85.94	438,968						
成果実績	指標名	市民農園利用率	目標	90	単位	%	100	単位	%	100	単位	%	100	単位	%
			実績	88.80	単位	%	88.08	単位	%	92.70	単位	%	96.01	単位	%
成果実績	備考														

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容							
評価	<table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか</td> <td>低</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">市民農園は、市民の自然との触れ合いなどを目的とした事業であるが、市街化区域に位置することから、近隣住民の生活環境面への影響が懸念される。また、民間による類似事業が市内にも複数あることから、市が担う必要性について課題がある。</td> </tr> </table>	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	低		市民農園は、市民の自然との触れ合いなどを目的とした事業であるが、市街化区域に位置することから、近隣住民の生活環境面への影響が懸念される。また、民間による類似事業が市内にも複数あることから、市が担う必要性について課題がある。	
	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	低				
		市民農園は、市民の自然との触れ合いなどを目的とした事業であるが、市街化区域に位置することから、近隣住民の生活環境面への影響が懸念される。また、民間による類似事業が市内にも複数あることから、市が担う必要性について課題がある。					
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	低				
		民間の類似事業に比べ、施設の充実度や利便性が低いため有効性は低い。					
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	低				
	維持管理に対する利用者及び近隣住民からの要望が増えているにもかかわらず、受益者負担の割合が低く、一般財源での負担が大きく効率性は低い。						
公平性	事務事業の公平性は高いか	低					
	受益者(利用者)が一部市民に限られること。また、受益者負担の割合も低く、一般財源での負担が大きく公平性は低い。						
その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無					
事業の方向性	事業縮小						
今後の方針	令和3年度に実施した外部評価の実施結果を踏まえ、土地賃貸借契約の更新時に利用実態を考慮した区画数の縮小や段階的な廃止の検討を進めていく。						

6. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	公園管理業務費										担当課	部課名	都市整備部公園課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	01	課等の長	西山博光	電話	4345

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 48 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	公園利用者の利便性と安全性を確保しつつ、みどり豊かな都市環境の向上を図り、市民に潤いと憩いの空間を提供するため、公園施設の点検や、樹木剪定・草刈りなどの定期的な維持管理を実施するもの。						
対象	1. 個人	市民					438,968人
根拠法令等	法律等	都市公園法、都市公園法施行令、都市公園法施行規則、藤沢市都市公園条例、藤沢市都市公園条例施行規則					
事業実施内容	1 公園内の定期的な維持管理 2 公園内の遊具及び施設の補修 3 公園内の樹木の剪定及び伐採 公園313カ所(2021年4月1日時点)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	719,752 千円		事業費節別内訳		
		需用費	64,422 千円	消費品費、施設修繕費、光熱水費等		
		役員費	26,014 千円	公園維持管理作業手数料		
		委託料	573,285 千円	指定管理料、公園維持管理委託、保守点検委託		
		使用料及び賃借料	54,999 千円	公園用地土地賃借料		
		その他	1,032 千円	報償費、旅費、原材料費、負担金補助及び交付金		
財源内訳	R3年度 支出済額	719,752 千円		事業費節別財源内訳		
		分担金・負担金				
		使用料・手数料				
		国庫支出金				
		県支出金				
		その他 (公園使用料等)	11,433 千円			
	一般財源	708,319 千円				

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	9.85人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	9.85人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.30人
---------------	-------

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	750,086	1,165,150	1,136,388	1,144,927		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	383,875	779,210	770,452	807,618		
		事業費(支出済額)	351,112	683,967	680,553	719,752		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	32,763	95,243	89,899	87,866		
		①常時勤務職員等の給与等	31,168	89,582	84,041	83,011		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	664	843		
		③退職金相当額	1,595	5,661	5,195	4,012		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	366,211	385,940	365,936	337,309		
		①減価償却費	366,577	366,577	366,577	337,300		
		②退職給与引当金繰入額	-366	19,363	-641	9		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他 ( )	0	0	0	0		
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	1747.16	429,317	2690.50	433,060	2611.66	435,121	2608.22	438,968
成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位
上記指標名の設定ができない理由		公園の維持管理を目的とした事務事業のため指標の設定はできない。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------



事務事業名	公園愛護会育成費										担当課	部課名	都市整備部公園課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	02	課等の長	西山 博光	電話	4343

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 57 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	都市公園は地域のレクリエーションやコミュニティ形成の場として日常生活の中で欠くことができない施設となっている。これらの公園のうち街区公園等の日常的な清掃や除草、花壇管理等の公園美化活動を地域住民の協力を得て実施するもの。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市公園愛護活動実施要綱、藤沢市公園愛護会交付金交付要綱、藤沢市総合公園美化保全活動実施要綱、藤沢市総合公園美化保全活動団体報償金交付要綱				
事業実施内容	街区公園等の日常的な管理を地域住民の協力を得て行うため、自主的な活動のための支援や交付金の支出、愛護会倉庫の設置などを実施し、各公園愛護会の育成を図るもの。 公園愛護会団体数158団体(2021年4月1日時点)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 10,374 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な内容
		需用費	1,528 千円	消耗品費
		原材料費	292 千円	その他原材料
		役務費	100 千円	公園愛護会倉庫移設
		備品購入費	462 千円	公園愛護会倉庫設置
		負担金補助及び交付金	7,992 千円	公園愛護会・公園美化推進団体に対する交付金
財源内訳	R3年度 支出済額 10,374 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他( )		
		一般財源	10,374 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	1.05人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.05人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.20人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度						
コスト	支出	行政費用 A	11,836	20,951	18,647	19,464					
		(1)現金を伴う支出 (千円)	11,944	20,640	19,556	19,463					
		事業費(支出済額)	2,308	9,950	10,015	10,374					
		償還金利息	0	0	0	0					
		人件費合計(①+②+③)	9,636	10,690	9,541	9,089					
		①常時勤務職員等の給与等	9,167	10,055	8,666	8,193					
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	442	562					
		③退職金相当額	469	635	433	334					
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-108	311	-909	1					
		①減価償却費	0	0	0	0					
		②退職給与引当金繰入額	-108	311	-909	1					
		③不納欠損額	0	0	0	0					
		④その他( )	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		27.57	429,317	48.38	433,060	42.85	435,121	44.34	438,968		
成果実績	指標名	全公園数に対する愛護会設置公園の割合	目標	70	単位	80	単位	80	単位	80	単位
				%		%		%		%	
	実績	51.61	単位	50.96	単位	50.16	単位	51.76	単位		
		%		%		%		%			
備考											

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容	
評価	必要性 藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか 高
	有効性 事務事業の実施手法の有効性は高いか 高
	効率性 事務事業の実施にあたり、効率性は高いか 高
	公平性 事務事業の公平性は高いか 高
	その他 上記評価の視点以外に、特記すべき内容 無
事業の方向性	事業拡大
今後の方針	地域と市民の財産である公園を清掃・美化活動等の愛護会活動を通じて、公園の快適な空間づくりを目指すとともに、公園愛護会制度の広報、公園情報アプリの活用等を引き続き行い、活動団体数の増加や活動の活性化を目指し、地域と一体となった公園管理を目指していきたい。

6. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------



事務事業名	近隣・街区公園新設事業費										担当課	部課名	都市整備部公園課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	003	説明	01	課等の長	西山 博光	電話	4341

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 45 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	地域コミュニティ形成の場及び災害時の一時避難場所として、並びに市民に憩いと安らぎを与える身近なオープンスペースを確保するため、近隣・街区公園の整備推進を図る。市民一人当たりの公園面積10㎡(近隣・街区公園分は2.5㎡)を目標に、都市計画公園の整備及び身近な公園への未到達区域内(概ね半径250m以内に1箇所)の整備を優先的に行う。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	法律等 都市計画法、都市公園法、藤沢市都市公園条例				
事業実施内容	1 折戸公園北側通路詳細設計委託 2 折戸公園北側通路路線測量委託 3 桜小路公園整備事業用地取得 4 桜花公園整備事業用地取得 5 (仮称)石原谷南公園整備事業用地取得				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		378,281 千円	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) 令和3年度 常時勤務職員※ 5.50人工 短時間勤務職員(再任用・任期) 0.00人工 合計 5.50人工 ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く 会計年度任用職員(配置数) 0.00人	
		費目	支出済額(千円)			主要内容
		委託料	5,545 千円			公園通路整備に伴う詳細設計及び路線測量
		公有財産購入費	372,431 千円			新設公園整備に向けた用地取得
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		378,281 千円		
		費目	支出済額(千円)			
		分担金・負担金				
		使用料・手数料				
		国庫支出金	6,814 千円			
		県支出金				
	その他(地方債)	42,800 千円				
	一般財源	328,667 千円				

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
		行政費用 A	230,090	692,309	370,717	428,251					
		(1)現金を伴う支出(千円)	230,768	686,238	371,341	427,340					
		事業費(支出済額)	198,005	633,758	323,641	378,281					
		償還金利息	0	0	0	0					
		人件費合計(①+②+③)	32,763	52,480	47,700	49,059					
		①常時勤務職員等の給与等	31,168	49,361	44,886	46,761					
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0					
		③退職金相当額	1,595	3,119	2,814	2,298					
		(2)現金を伴わない支出(千円)	-678	6,071	-624	910					
		①減価償却費	0	0	0	0					
		②退職給与引当金繰入額	-678	6,071	-624	910					
		③不納欠損額	0	0	0	0					
		④その他( )	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)		535.94	429,317	1598.64	433,060	851.99	435,121	975.59	438,968		
成果実績	指標名	開設済の都市計画公園面積率(住区基幹公園)	目標	100	単位 %	100	単位 %	100	単位 %	100	単位 %
		実績	78.72	単位 %	79.43	単位 %	79.43	単位 %	79.53	単位 %	
備考											

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	近隣・街区公園新設事業費(繰越分)										担当課	部課名	都市整備部公園課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	003	説明	01	課等の長	西山 博光	電話	4341

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 45 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域コミュニティ形成の場及び災害時の一時避難場所として、並びに市民に憩いと安らぎを与える身近なオープンスペースを確保するため、近隣・街区公園の整備推進を図る。市民一人当たりの公園面積10㎡(近隣・街区公園分は2.5㎡)を目標に、都市計画公園の整備及び身近な公園への未到達区域内(概ね半径250m以内に1箇所)の整備を優先的に行う。						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等	法律等 都市計画法、都市公園法、藤沢市都市公園条例						
事業実施内容	1 上藤が谷公園整備工事 2 吉野町公園内建物移転補償						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
		費目	支出済額(千円)		主要内容
	78,871 千円	工事請負費	68,811 千円		上藤が谷公園整備工事
		補償補填及び賠償金	10,060 千円	吉野町公園整備に伴う損失補償	
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度	
		費目	支出済額(千円)	常時勤務職員※	
	78,871 千円	分担金・負担金		0.90人工	
		使用料・手数料		短時間勤務職員(再任用・任期)	
		国庫支出金		0.00人工	
		県支出金		合計	
	その他(地方債)	59,100 千円		0.90人工	
	一般財源	19,771 千円		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
				会計年度任用職員(配置数)	
				0.00人	

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度						
		行政費用 A	0	0	124,891	89,012						
		(1)現金を伴う支出(千円)	0	0	124,288	86,899						
		事業費(支出済額)			122,454	78,871						
		償還金利息			0	0						
		人件費合計(①+②+③)	0	0	1,834	8,028						
		①常時勤務職員等の給与等			1,726	7,652						
		②会計年度任用職員の報酬等			0	0						
		③退職金相当額			108	376						
		(2)現金を伴わない支出(千円)	0	0	603	2,113						
		①減価償却費			0	0						
		②退職給与引当金繰入額			603	2,113						
		③不納欠損額			0	0						
		④その他( )			0	0						
		市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	0.00	429,317	0.00	433,060	287.03	435,121	202.77	438,968		
成果実績	指標名	開設済の都市計画公園面積率(住区基幹公園)	目標	100	単位 %	100	単位 %	100	単位 %	100	単位 %	
			実績	78.72	単位 %	79.43	単位 %	79.43	単位 %	79.53	単位 %	
	備考											

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------